

**事例で学ぶ  
社内に埋もれたデータを  
10秒で探し出す  
データ管理の方法**

パナソニック デジタル株式会社



# アンケートにご回答いただいた方へ、 本日の発表資料をお送りします

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

-

**必須** 1.会社名

〃

**必須** 2.お名前

〃

**必須** 3.セミナー資料を希望されますか

希望する

希望しない

セミナー終了後、本日のセミナーの「アンケート」が表示されます。  
ご回答いただいた方へ、本日の発表資料をお送りします。

# お気軽にご質問ください

- 「もしかして、もう既に話してた内容かな？」と思っても、お気軽に聞いてください。
- どんな初歩的な質問でもOKです。
- 具体的な質問、Welcomeです。

# 高原 亨弥

Takahara Yukiya

パナソニック デジタル  
東日本営業推進部

- 民間企業様向けセールス
- 座右の銘 # やりたいだけで終わらせない
- 趣味 旅行、読書



日々の仕事で行っている「情報検索」

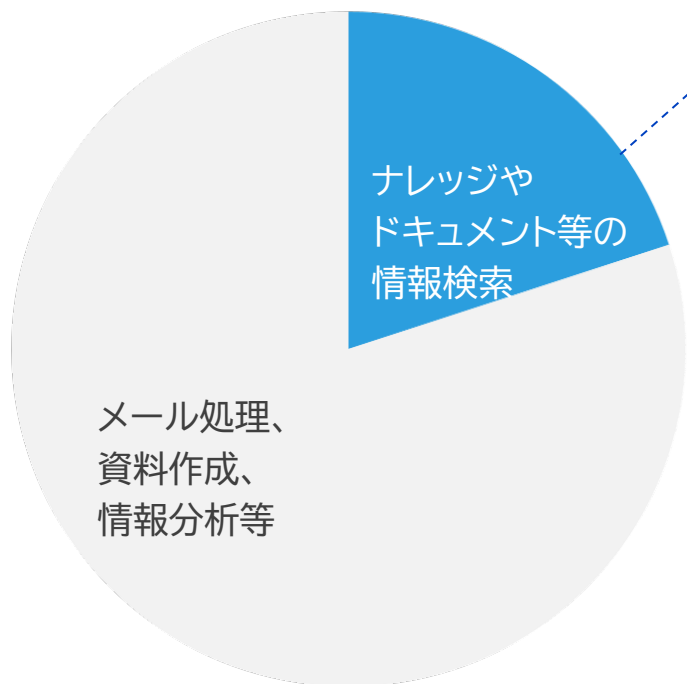
Q.

「情報検索」に費やしている  
年間コストは？

オフィスワーカー100人規模企業が  
「情報検索」に費やす年間コスト

約9,200万円／年

オフィスワーカーは情報入手のために多大な労力を払っており、  
企業は**年間数億円以上の見えないコスト**を抱えている



1日の労働時間における情報検索時間の割合

- オフィスワーカーは**労働時間の約20%\***を情報検索に費やしている  
「ベテラン社員に聞かないと資料が探せない」  
「エクスプローラーのファイル名検索では時間がかかる」  
「異動してきた人が資料を探せない」
- オフィスワーカー100人規模の企業の場合、情報検索に費やしているコストは**約9,200万円/年**

<前提条件>

- ①企業規模: オフィスワーカー100人
- ②平均年収: 458万円\*2
- ③検索・情報収集時間: 20%\*1
- ④労働時間を40時間/週と想定

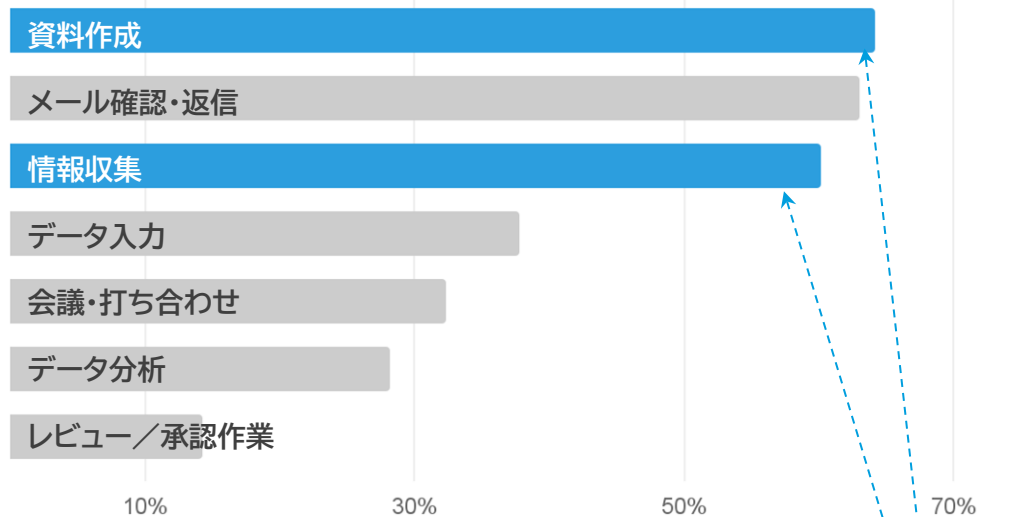
\*1 McKinsey Global Institute analysis「The social economy: Unlocking value and productivity through social technologies」

\*2 国税庁 令和4年 民間給与実態統計調査結果

## 企業内ナレッジを発見・活用・共有する仕組みが無いことに 半数以上の社員が課題を感じている

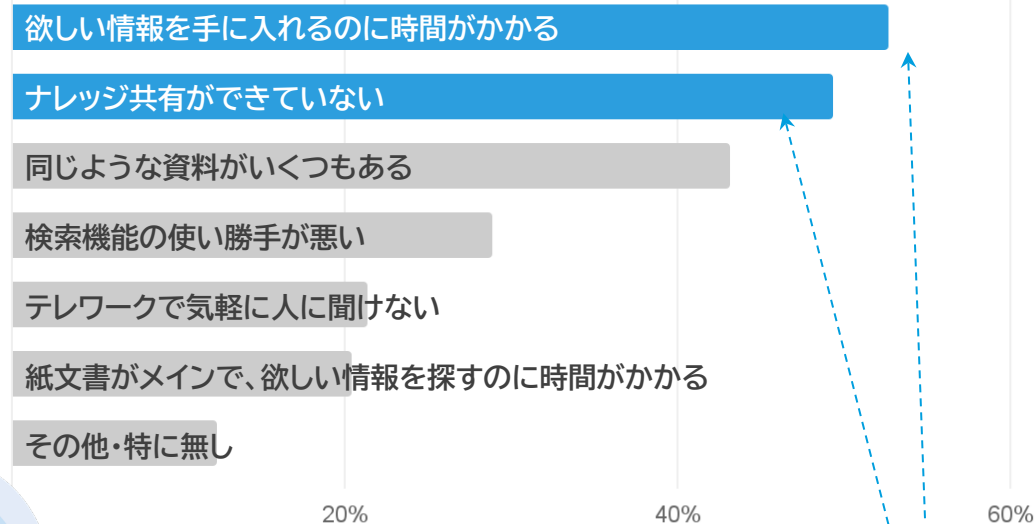
Q. 業務の中で普段時間をかけているもの（上位3つ選択）

有効回答数500名：インターネット調査

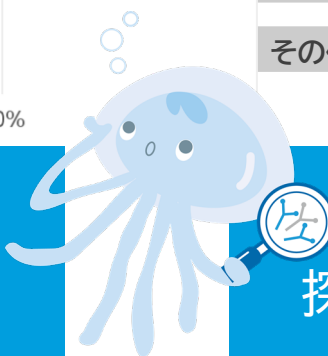


Q. 社内情報共有で感じている課題（複数回答可）

有効回答数211名：インターネット調査



60%以上の社員が普段  
資料作成・情報収集に時間をかけている



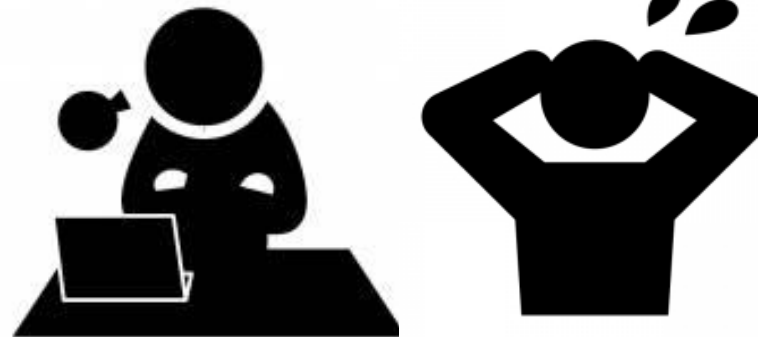
50%以上の社員が  
探す場所・データの増加、ナレッジ共有に  
課題意識をもっている

自分の作成した資料と  
同じような資料を他の人  
が既に作成していた。

入社・異動後に資料の  
保存先が分からず業務  
が滞ってしまう

どれが最新のデータか  
分からない

生成AIに聞いてもハルシ  
ネーション（誤回答）が  
起きる



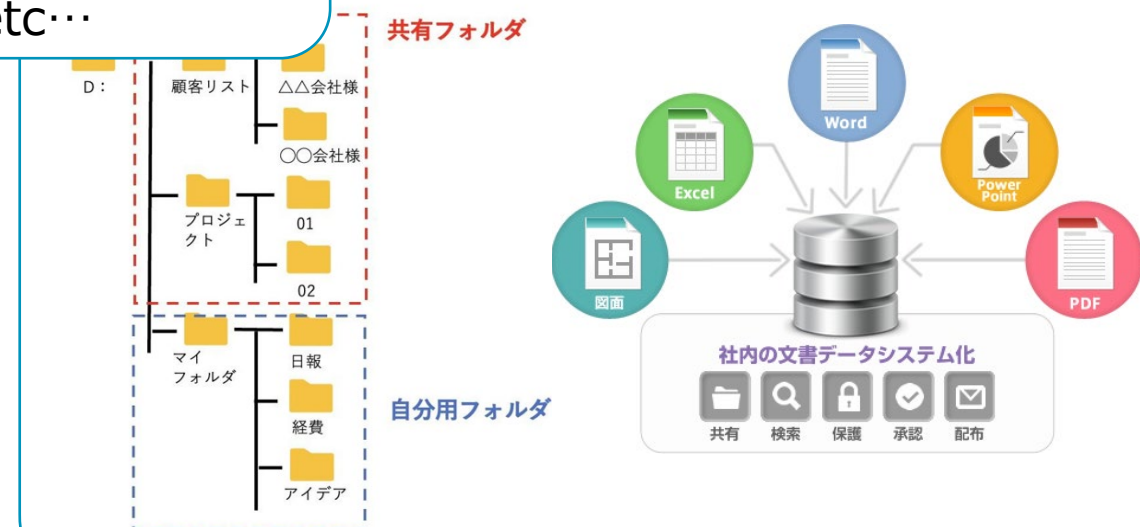
# では、どう対応すべきか

- ①データを2つ（厳重に管理しないといけない、その他）に分類する
- ②2つに分けたうち、その他のデータは検索で対応する

## 厳格に管理

- ・御見積・注文書
- ・請求書
- etc...

## 厳重に管理するデータ



ルール or 文書管理システム

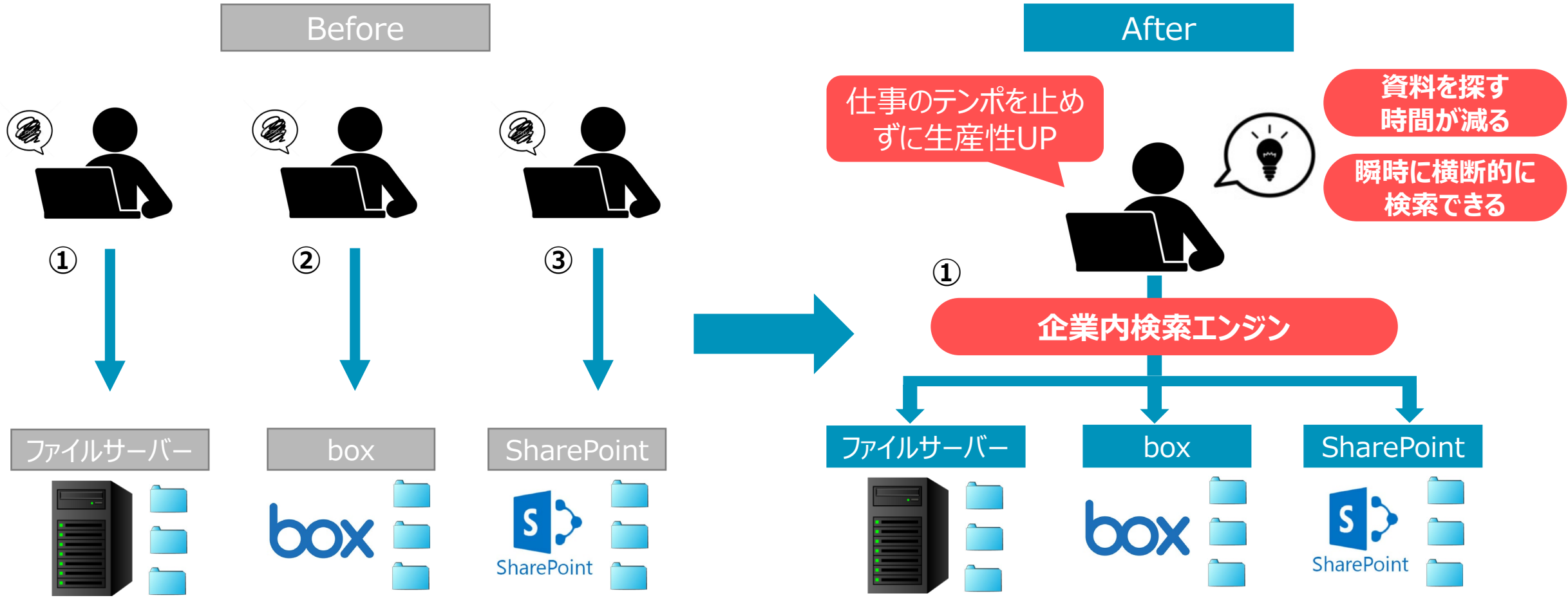
## その他

- ・提案資料
- ・設計書
- etc...

## その他のデータ



企業内検索エンジン



- ① : ファイルサーバーフォルダを一つずつ探す  
また、ファイルの一つずつ開き探す
- ② : ①と同様に違う保存場所を探す
- ③ : ②の繰り返し

- ① : 企業内検索エンジンにて一度検索するだけ！  
思いもよらない資料が見つかることも。  
ファイルを開かずとも、サムネイル・プレビュー機能によって中身を確認できる。

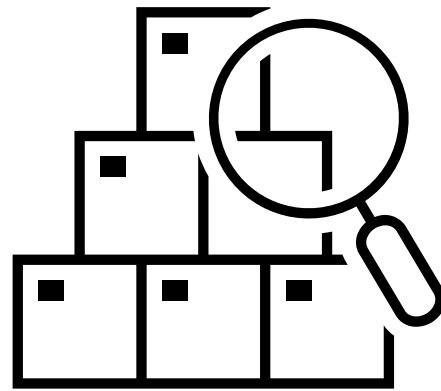
# ナレッジを活用できない企業は、**競争力**を失う

日常で使うGoogle検索のように、いつでも、だれでも、簡単に使いこなせる検索ツールを導入することがナレッジ活用の第一歩

社員一人ひとりが持つ  
知識やノウハウを  
組織全体で共有



日々の業務改善や  
施策に活かす



蓄積されたナレッジ（自社の財産）

## 事例ご紹介



## ファイルサーバやSharePointだけでなく Salesforceなどのクラウドも横断検索できる仕組みを構築

ファイルサーバとクラウドにデータが散在。  
横断的に検索できるNeuron ESを導入

Microsoft Copilotとも比較し、  
マイクロソフト社製品以外も検索できる  
ことからエンタープライズサーチを採用



- ファイルサーバのデータ**約630万件**、Microsoft SharePoint Onlineのデータ**約64万件**、Teachme Bizの社内マニュアル**約1,000件**、Salesforceの図面・完成図書など**約1万7,000件**を横断検索可能に
- ひとつの検索窓から、**さまざまな社内データを一括で横断検索**できる

## ファイルサーバにある450万以上ものデータを高速検索 工事写真の黒板の文字まで検索対象に

総ファイル数450万以上のファイルサーバを  
高速検索

工事写真の黒板に書かれた文字を  
OCRで読み取り、検索対象に



- **15～30分**ほど要していた検索時間が、**Neuron ES導入後は数分に**
- 別現場の似た事例を探し出せるので、**ナレッジマネジメント**にも役立つ

## Boxの「検索の壁」をNeuron ESで補強

Boxは1ファイルあたり  
冒頭1万バイト分のみが検索対象という仕様

Boxに集約された4,000万ファイル・45TBを  
Neuron ESで全文検索



- 自分自身に経験がない工法や、他事業所のプロジェクトに保存された図面や書類、写真の参照など、**実務に役立つ情報を迅速に検索**できる
- **Active Directory**の権限に応じて検索できる

## 数十万人が利用する社内ポータルを検索性を向上

社内ポータル内検索に横断検索が可能なエンタープライズサーチを採用

高速化とヒット率向上で、知りたいことがすぐに分かる！



- 事業会社制にとまらない**社内ポータルの検索機能を刷新**
- 以前の検索機能で**課題だったスピードやヒット率**を、新たな検索エンジンNeuron ESが解決
- 毎晩バッチ処理を実施できるようになり、**常に新鮮な検索結果を届ける**ことが可能に

対話型AI・エンタープライズサーチ  
どの業務にどのツールが向いている？





対話型AI



エンタープライズサーチ



対話型AI (ChatGPTなど)



エンタープライズサーチ



エンタープライズサーチ+AI

事前学習・チューニング	必要	不要	不要
データソース	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット公開情報</li> <li>一部は社内データと統合可</li> </ul>	最新の社内データ	検索で取得した権限内の社内データ
回答の特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>柔軟な文章生成</li> <li>ただしハルシネーションの可能性あり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数ドキュメントを提示 (一次情報そのもの)</li> <li>ユーザー判断で正確性を担保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根拠付きのAI回答が可能</li> <li>検索→生成の順でハルシネーションを抑制</li> </ul>
正確性	正確とは限らない	正確	正確
情報漏洩リスク	あり	なし	なし
向いている業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章校正・要約</li> <li>企画・アイデア出しの壁打ち</li> <li>メール・文書作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内資料の一括検索</li> <li>ナレッジ発掘 (暗黙知の可視化)</li> <li>最新ドキュメントの探索</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>正確性が必要な回答生成</li> <li>複数資料の要約・比較</li> <li>手順書／分析レポートの自動生成</li> </ul>

# NeuronESとは？



企業内のさまざまな文書やデータを、素早く横断的に全文検索できるエンジン



横断検索

多様なデータソースへの高い接続性

単一インターフェース

1つのインターフェースでデータソース全体に存在する関連性の高い情報を発見

統合インデックス

構造化コンテンツと非構造化コンテンツを単一のインデックスに統合

セキュリティ

自分の権限を持つ文書のみが検索結果に表示

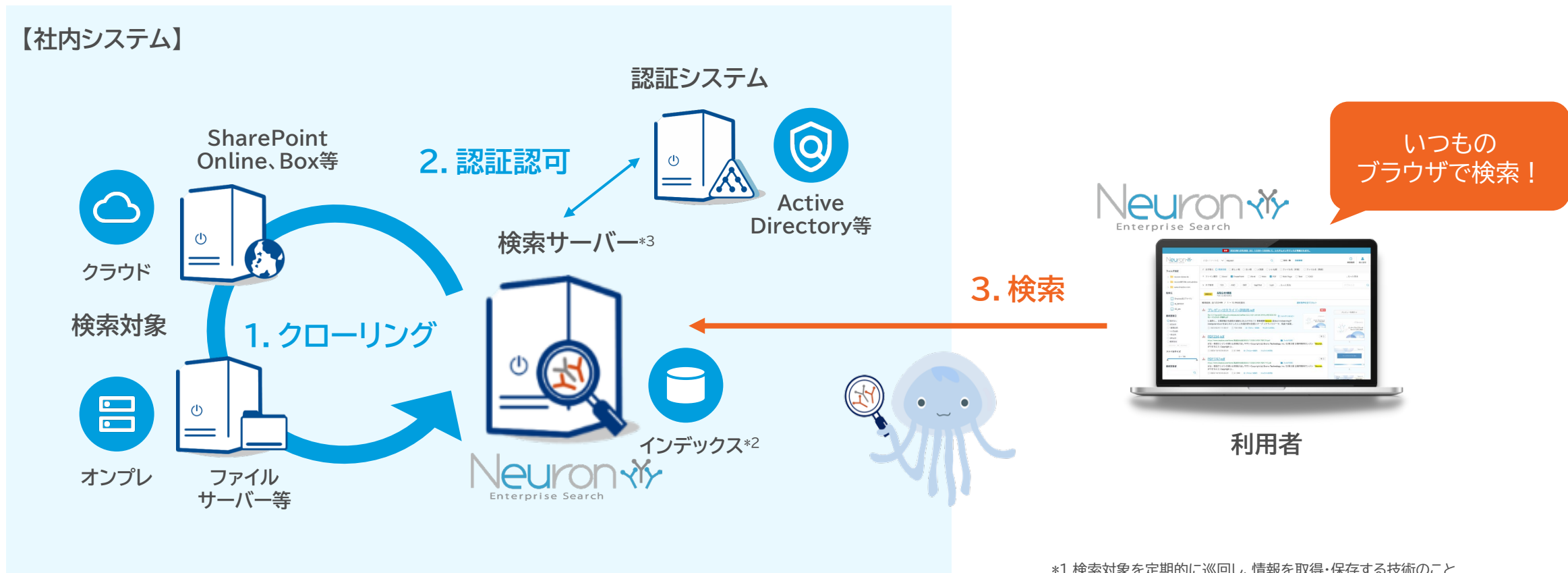
行動データ

タグ付けや文書の絞り込み、社員の検索状況把握

AI

複数ファイルから情報を収集し、要約・比較・評価を実施  
会話型AIチャットで更に深掘りした回答を提供

既存システムに変更を加えることなく検索対象をクローリング\*1  
利用者はいつものブラウザで検索するだけ



\*1 検索対象を定期的に巡回し、情報を取得・保存する技術のこと  
\*2 クローリングした情報が検索エンジンのデータベースに登録された状態のこと  
\*3 検索サーバーは別途ご準備いただく必要があります

マニュアルレスで簡単操作  
すぐに使えてすぐに見つかる、投資対効果（ROI）の高いソフトウェア

機能

多様化する保管場所を  
横断検索

社内情報の保管場所の多くを  
Neuron ESで検索可能。  
マニュアルレスで利用できるシンプルな  
機能でユーザー教育コストもかからない。

高速  
高精度

独自開発の高速クローラ  
日本語が高精度にヒット

独自技術により文書量が増えてもイン  
デックス化のスピードを高速維持。国産  
ソフトウェアならではの日本語検索精  
度に強み。

低価格

短期間・低コストで  
スモールスタート成功支援

予算や利用シーンに合わせ、貴社に  
とって最もコストパフォーマンスの良いラ  
イセンスをご提案。

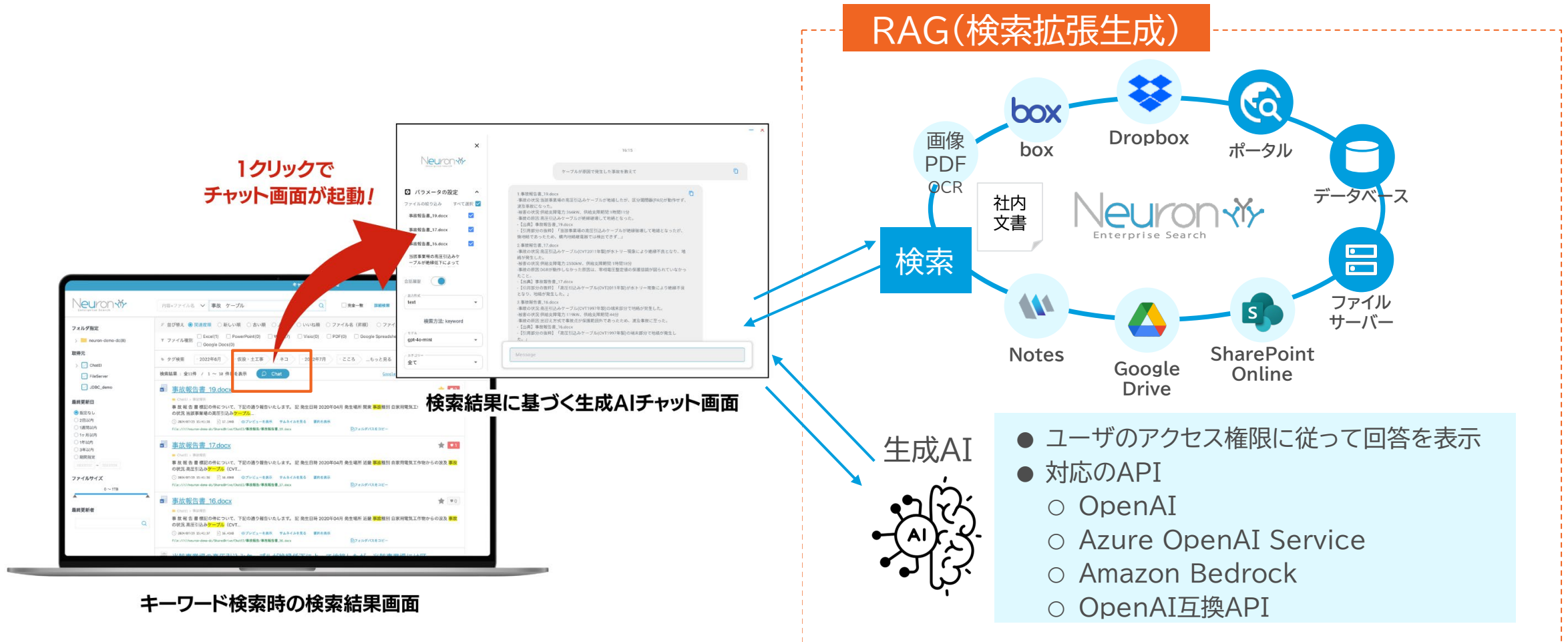
# デモンストレーション



# 推奨オプション：生成AI連携オプション

## 検索結果に表示された文書に対して、会話型AIチャットで更に深掘りした回答を得ることが可能

### これによりユーザは今まで以上に深いナレッジを得られます



# 費用対効果シミュレーション



## 導入効果シミュレータ

[Neuron エンタープライズサーチ](#) > 導入効果シミュレータ

### Neuron ES 導入効果シミュレータ

導入対象人数 約  名

※日常業務でPCを利用した検索業務を行う方のおおよその人数を入力してください。

一人1日当たりの平均検索回数 約  回

※職種・業務内容・時期等によって大きく異なりますが、あくまで概算を出すための平均値として入力してください。

導入前1回当たりの平均検索時間 約  分

※探したい情報によって大きく異なりますが、あくまで概算を出すための平均値として入力してください。

- オフィスワーカー100人規模企業が「情報検索」に費やす年間コストは**約9,200万円／年**
- 社内のデータを**2種類（厳重に管理すべきデータとその他）**に分類し、  
その他のデータは検索でカバーする
- **エンタープライズサーチ**は、社内の情報資産をすぐに検索できるツール
- 対話型AI・エンタープライズサーチはそれぞれの得意分野を把握して**適材適所で導入**するのがよい
- **エンタープライズサーチ+AI**という選択肢
- Neuron ESの**導入効果シミュレーション**が可能

# アンケートにご回答いただいた方へ、 本日の発表資料をお送りします

アンケート

各設問に回答後、画面下の「回答」をクリックしてください。

-

**必須** 1.会社名

〃

**必須** 2.お名前

〃

**必須** 3.セミナー資料を希望されますか

希望する

希望しない

セミナー終了後、本日のセミナーの「アンケート」が表示されます。  
ご回答いただいた方へ、本日の発表資料をお送りします。